

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月19日(土)②

担当部局・担当課名: 知事政策局広報・ブランディング推進室

事業名	県広報とやまの発行	評価結果	一部改善
-----	-----------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・県民にとってこれがないと困るという内容になっていない。
- ・市町村の広報誌に相乗りさせてもらう等、周知方法のコストダウンが図れないか。
- ・小学生でも関心を引くコーナーを設けてはどうか。
- ・紙媒体については、なくてもよいのではないか。本来の県の広報の役割というものをもう一度見詰め直す必要がある。
- ・SNS等でも、自然と目に入るよう工夫しないといけない。
- ・新聞購読世帯が減ったから部数を減らすという考えは良くない。

【県民評価者の意見】

- ・特になし

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

20

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業廃止)	役割分担 見直し (市町村・民間実施ま たは紙媒体不要)	抜本的改善 (配達方法等も含めた 大きな制度改善)	一部改善 (内容等一部見直し)	現行どおり ・拡充
	1	3	6	8	2
県民評価者の 主なコメント	【一部改善】 ・「県広報とやま」の目的、位置づけ、役割の見直し、明確化が必要。 ・個人的には実用的な情報提供ではなく、幅広い世代に読んでもらい、県政に親しみを持ってもらうことを目的としてもよいと思う。 ・県民が知る必要のある情報、知ってほしい情報に限定するのが望ましいと思う。 ・新聞折込だけでなく、市町村との連携(市町村広報誌との共同配布)も検討が必要では。				
	【行政の関与不要】 ・事業を廃止したほうがよい。新聞に入っても読まない。 【役割分担見直し】 ・市報に吸収させる方向で検討を進めるべき。 【事業全体の抜本的改善】 ・広報の内容の再検討。ターゲットや目的を絞ることが必要。 ・紙媒体は必要ではあるが、内容・配布方法は検討が必要。 【現行どおり・拡充】 ・掲載内容は対象者にあわせて見直しが必要。				

【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	4	0	0

事業名	県広報とやまの発行	評価結果	一部改善
------------	-----------	-------------	------

【県の対応】

今後の 対応方針	一部改善	事業内容の見直し			
	○より多くの県民に届けるため、①配架場所の拡充、②デジタル広告による配信、③市町村への協力依頼を行うなど、配布方法を見直し ○県政に親しみをもってもらえる、県民に必要であり、また、知ってほしい情報を届けられる広報紙に向けた掲載内容に見直し				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	33,363(千円)	R5当初予算	34,013(千円)	増減額 ▲ 650(千円)
	増減理由	配布方法の見直しに伴う配送費等の増、新聞折込部数の減に伴う新聞折込費の減			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6年度 当初予算	要求 状況	要求額	33,363(千円)	前年度予算額	34,013(千円)	
		事業の目的	県が重点施策をわかりやすく紹介することで、県政への理解や参加を促し、また県内全域の情報を届けることにより、郷土に対する愛着を深めていただくもの。			
		事業内容	①広報紙の制作 ②広報紙の印刷・配布 配架場所の拡充、デジタル広告による配信、市町村との連携協力依頼 等 ③点字・音声広報の発行			
		積算内訳	①3,818千円、②28,325千円、③1,220千円			
	予算編成過程に おける議論	・レビューにおける意見を踏まえ、配布方法や掲載内容を見直すなど、適切な見直しが行われている。 ・若者の県政への参画を促すための新たな取組みを実施してはどうか。				
	最終的 な予算 案	予算額	33,363千円			
要求時点か らの変更点		変更なし				